
JFEシステムズ株式会社

2009年3月期第2四半期
決算説明会

2008年10月29日

目次

- I . 2009年3月期第2四半期累計期間
(4月～9月)決算概況 P 3
- II . 2009年3月期業績見通し P14
- III . 重点課題への取組み P23
(補足資料:単体損益) P33

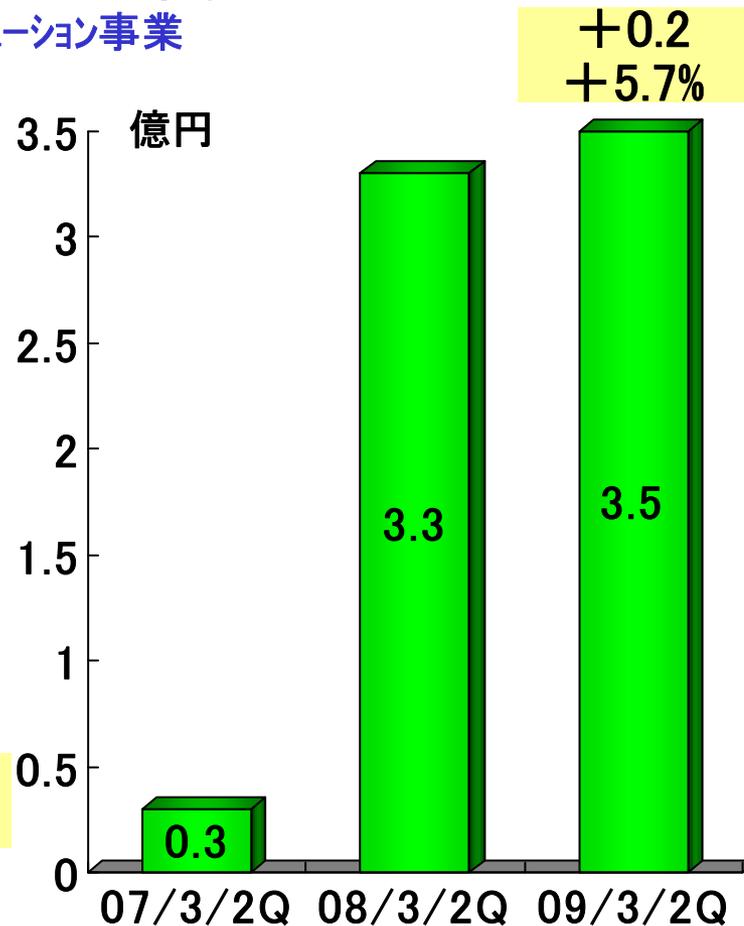
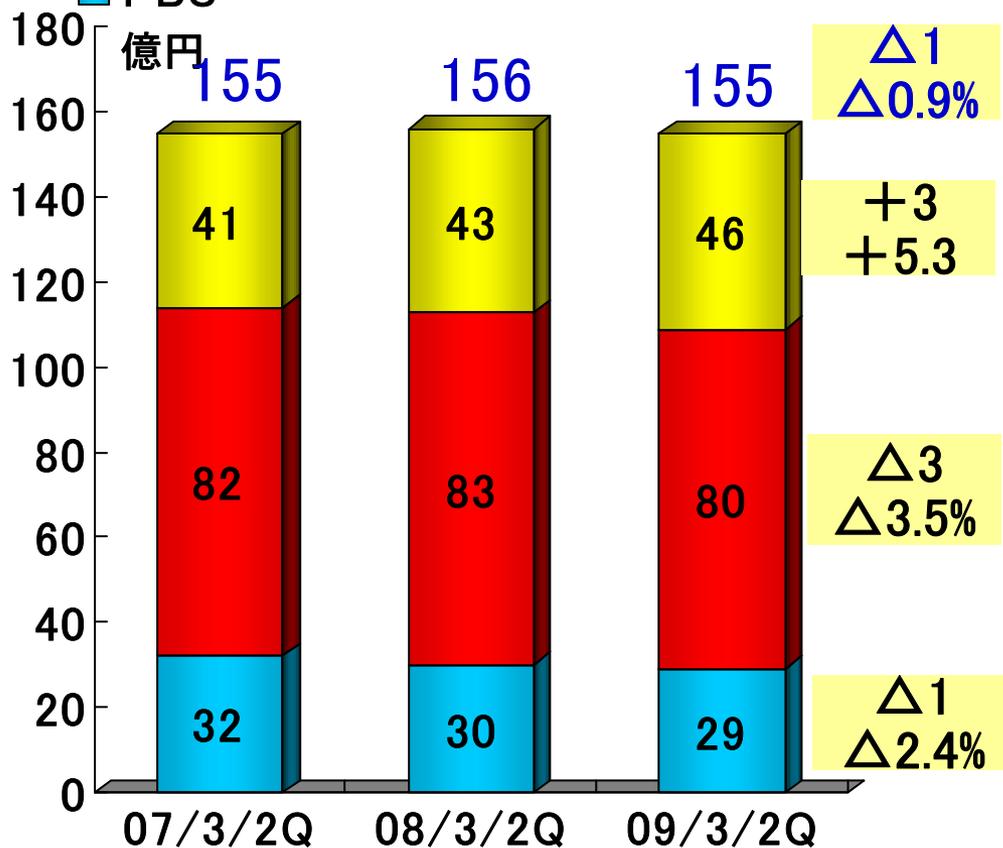
I . 2009年3月期 第2四半期累計期間 (4月～9月) 決算概況

2009年3月期第2四半期累計期間 業績の概要

<連結売上高>

<連結経常利益>

- BAS (JFEスチール向け) BAS: ビジネスアプリケーション・システム事業
- BAS (JFEスチール以外) PBS: プロダクトベース・ソリューション事業
- PBS



(連結：計画比)

単位：百万円

	計画	実績	計画比増減	
			金額	率
売上高	14,500	15,551	1,051	7.2%
営業利益	70	344	274	391.4%
経常利益	60	352	292	486.7%
(経常利益率)	0.4%	2.3%	0.2%	-
四半期純利益	0	184	184	-

■売上、利益とも計画を大幅に上回る

2009年3月期第2四半期累計期間業績

(連結：前年同期比)

単位：百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
売上高	15,689	15,551	△ 138	△0.9%
売上総利益	2,582	2,601	19	0.7%
(売上総利益率)	16.5%	16.7%	-	-
営業利益	329	344	15	4.6%
経常利益	333	352	19	5.7%
(経常利益率)	2.1%	2.3%	-	-
特別損益	△ 61	0	61	-
四半期純利益	135	184	49	36.3%

■前年同期に過年度役員退職慰労金繰入額計上による特別損失あり。

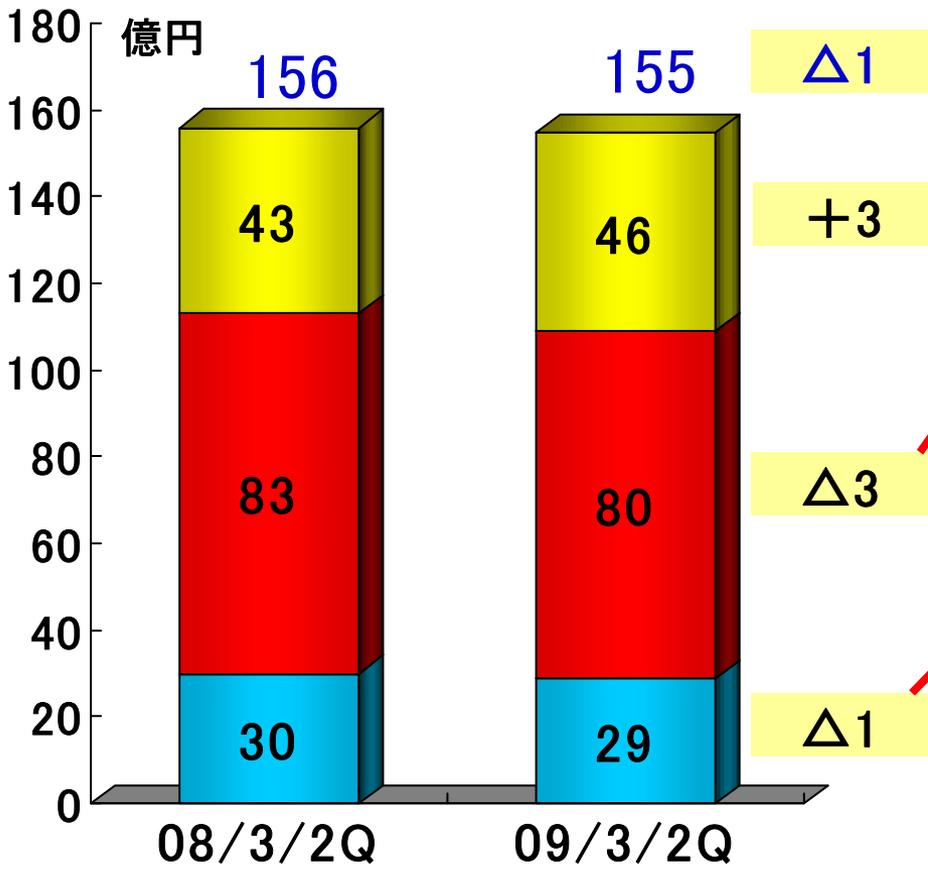
■営業利益、経常利益が前期実績を上回る。

2009年3月期第2四半期累計期間

売上高増減の要因(連結:対前年同期)

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS

億円



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・製造流通等向け	△ 2
・金融向け	+ 0
・JFEグループ会社向け	+ 0
・KITシステムズ連結相殺	△ 1
合計	△ 3

億円

PBS事業増減

・EC/EDI	△ 1.3
・食品	+ 0.4
・BI	+ 0.4
・防災	+ 0.3
・その他	△ 0.8
合計	△ 1

2009年3月期第2四半期累計期間



事業別売上総利益内訳(連結:前年同期比)

単位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
BAS事業	2,019	1,997	△ 22	△1.1%
(売上総利益率)	15.9%	15.8%	—	—
PBS事業	563	604	41	7.3%
(売上総利益率)	18.7%	20.6%	—	—
全社計	2,582	2,601	19	0.7%
(売上総利益率)	16.5%	16.7%	—	—

2009年3月期第2四半期累計期間 売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

百万円

売上総利益増減要因(◎大幅な増益、○増益、△横ばい、×減益)	影響額
1. BAS事業 △製造流通向けでプロジェクトリスク管理の強化やCS活動の成果により、利益率が改善したが、事業構成差等により売上総利益はわずかに減少した。	△22
2. PBS事業 ○コンタクトセンターシステム事業の合理化効果、電子帳票システムの収益増等により前年同期を上回った。	+41
合計	+19

2009年3月期第2四半期累計期間

販管費、営業外損益の増減(連結:前年同期比)

■ 販売費・一般管理費：5百万円増加

(08/3/2Q:2,252百万円→09/3/2Q:2,257百万円)

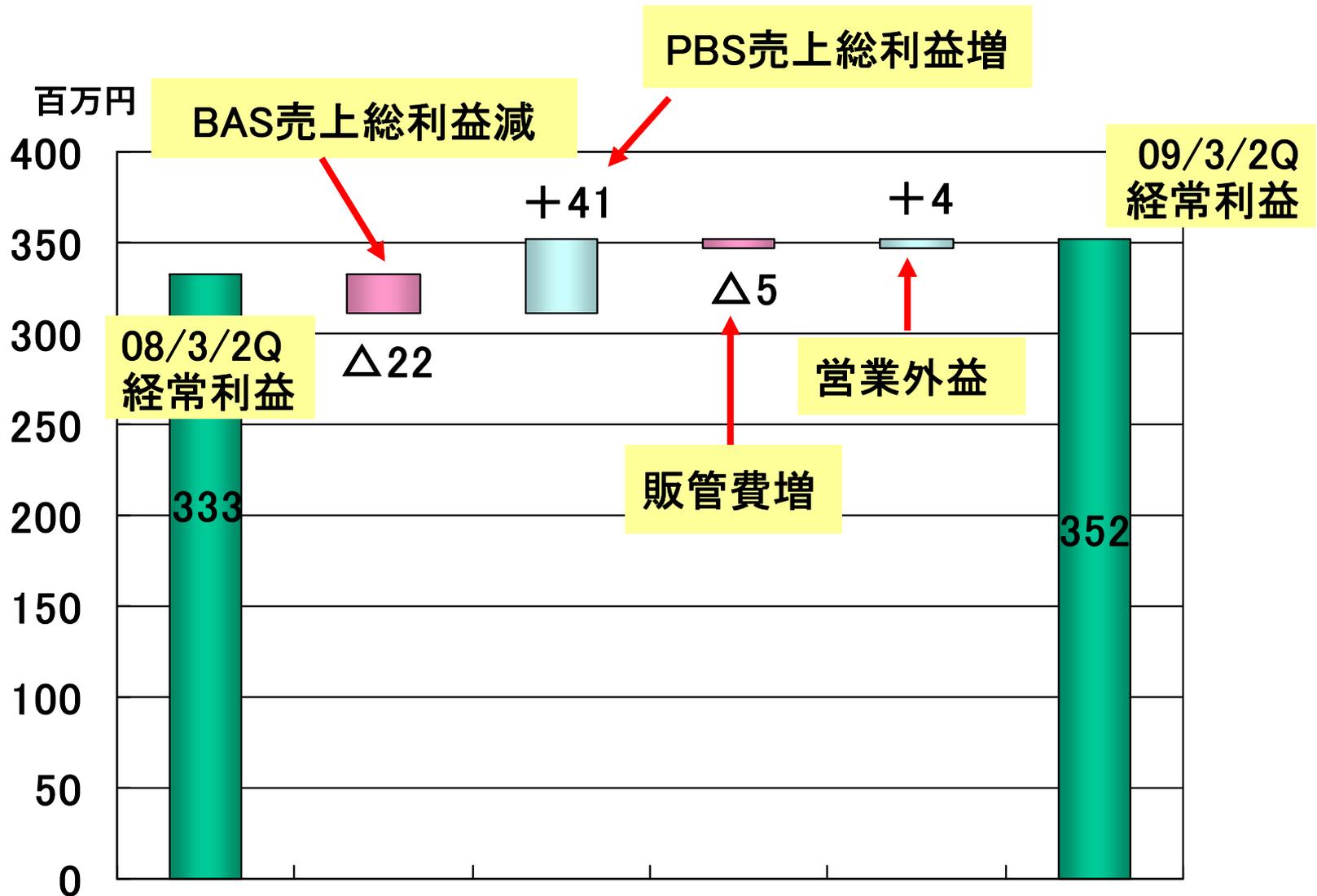
■ 特別損益：61百万円改善

(08/3/2Q : Δ 61百万円*1→ 09/3/2Q :0百万円)

*1:過年度役員退職慰労金繰入額を計上

2009年3月期第2四半期累計期間

経常利益増減の要因整理 (連結: 対前年同期)

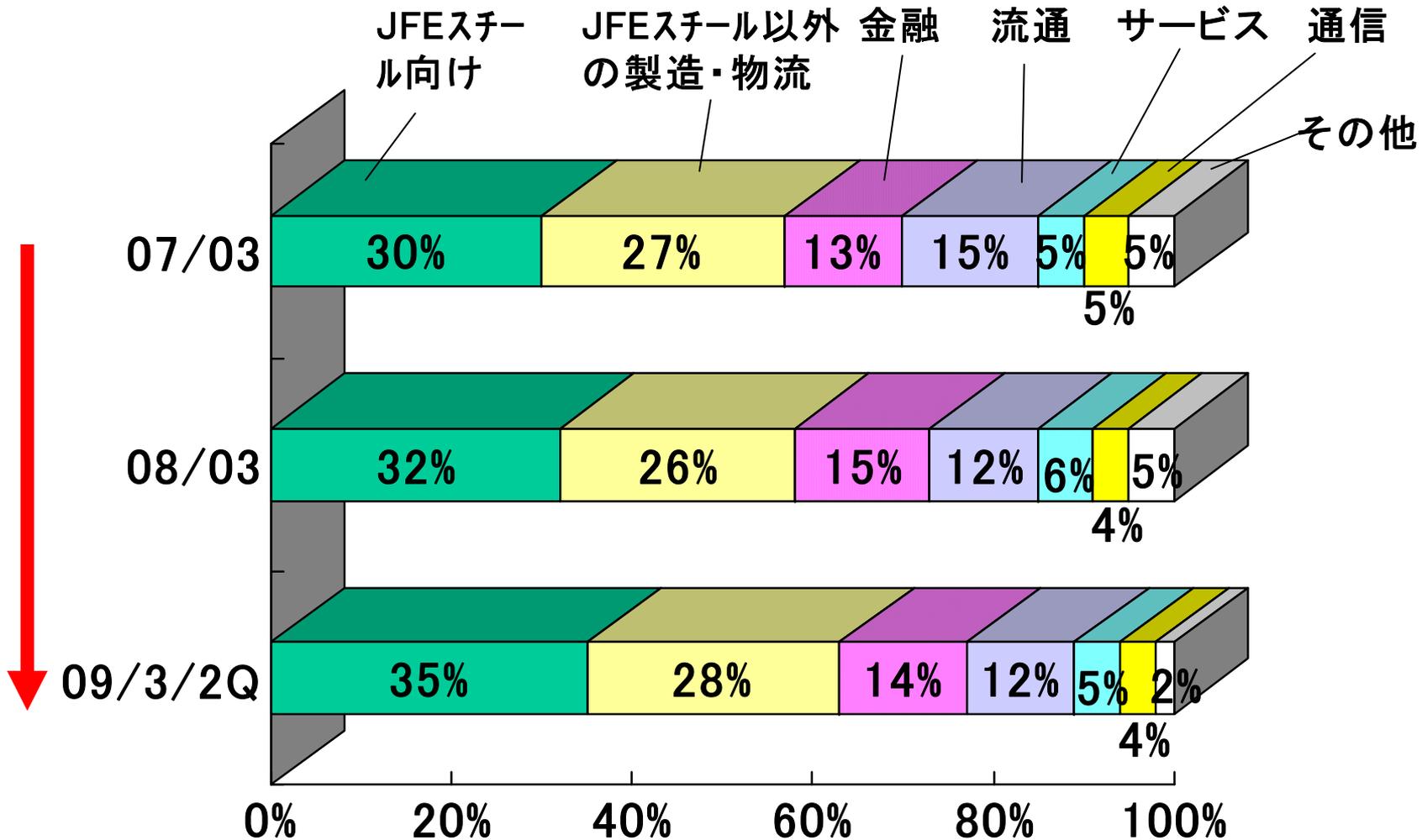


2009年3月期第2四半期累計期間 經營指標(連結:前年同期比)

單位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
借入金	800	0	△ 800	△ 100.0%
自己資本	7,713	8,204	491	6.4%
総資本	13,739	14,950	1,211	8.8%
自己資本比率	56.1%	54.9%	—	—
ROE	1.8%	2.2%	—	—
従業員数(人)	1,530	1,515	△ 15	△ 1.0%
売上高/人	10.3	10.3	0.0	0.1%
経常利益/人	0.22	0.23	0.01	6.8%

2009年3月期第2四半期累計期間 販売先業種構成(単体)

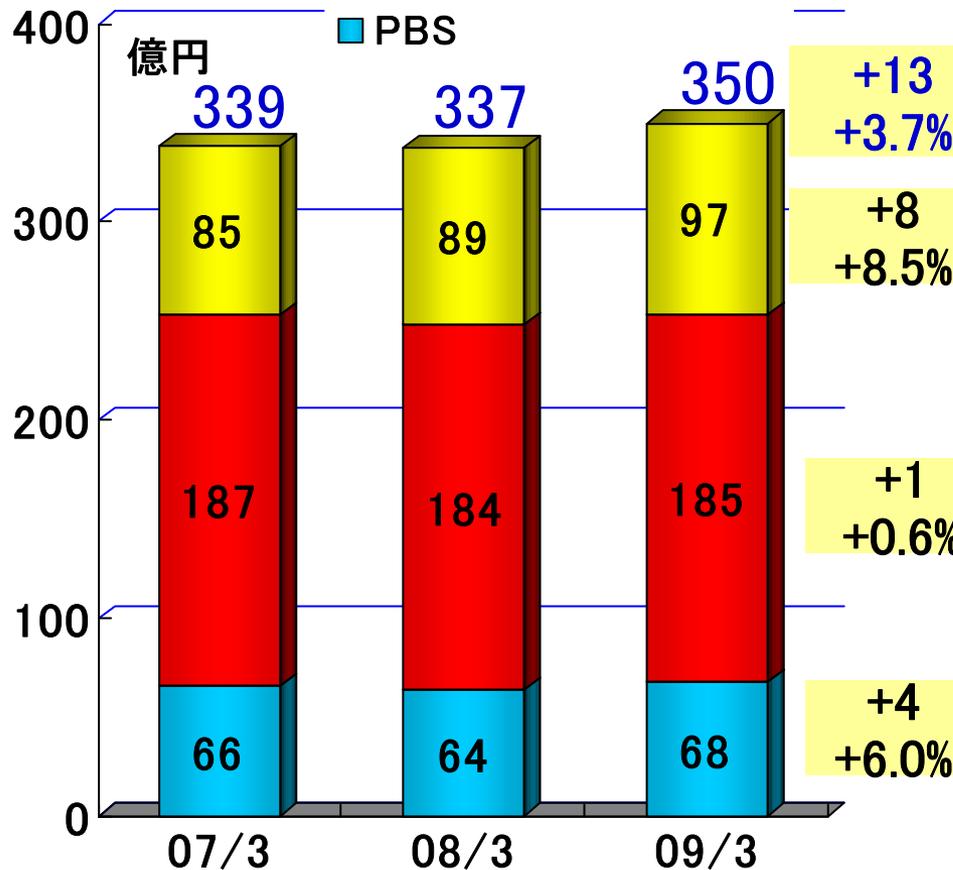


Ⅱ . 2009年3月期 業績見通し

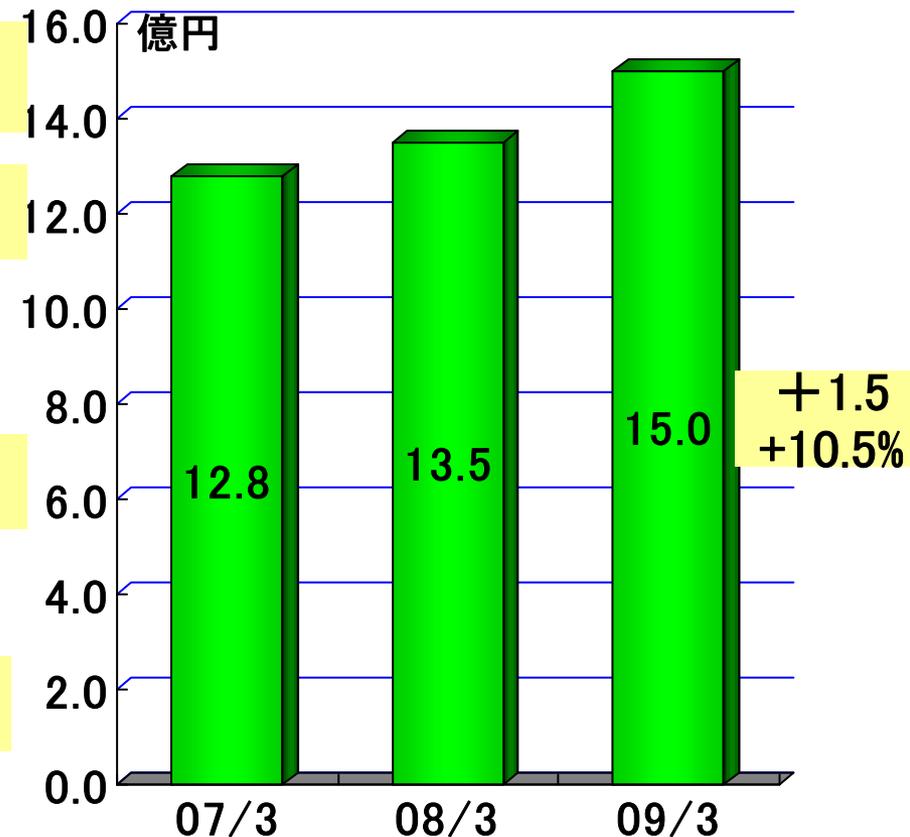
2009年3月期の収益見通し概要

連結売上高

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS



連結経常利益



2009年3月期見込み(連結:前期比)

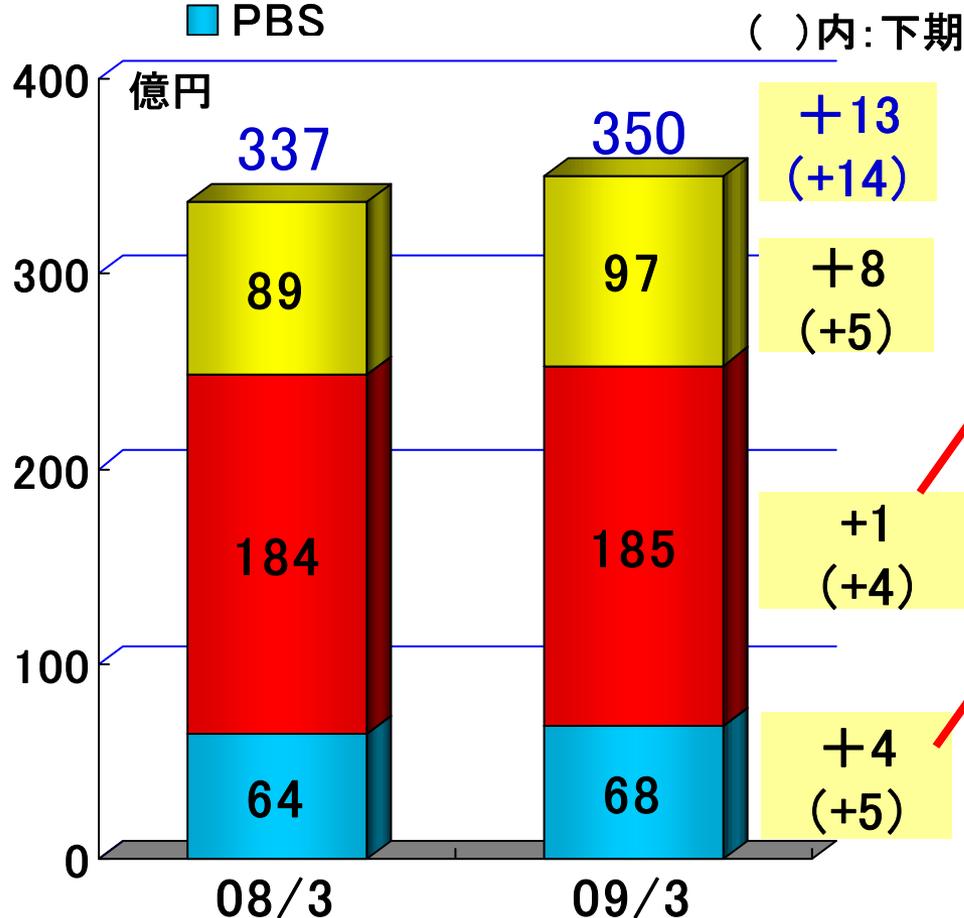
単位:百万円

	2008/3 実績	2009/3 見込み	増減	
			金額	率
売上高	33,742	35,000	1,258	3.7%
売上総利益	5,803	6,160	357	6.2%
(売上総利益率)	17.2%	17.6%	—	—
営業利益	1,356	1,520	164	12.1%
経常利益	1,357	1,500	143	10.5%
(経常利益率)	4.0%	4.3%	—	—
特別損益	△ 131	0	131	—
当期純利益	663	820	157	23.7%
EPS(円/株)	8,443	10,442	1,999	23.7%

売上高見通し増減の要因

■ BAS (JFEスチール向け)
■ BAS (JFEスチール以外)
■ PBS

()内:下期 億円



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・金融向け	△ 1 (△ 1)
・製造流通等向け	+ 8 (+10)
・JFEグループ会社	△ 7 (△ 7)
・KITシステムズ寄与	+ 1 (+ 2)
合計	+ 1 (+ 4)

()内:下期 億円

PBS事業増減

・食品向けシステム	+ 4 (+3.6)
・電子帳票	+ 1.4 (+1.8)
・防災	+ 0.8 (+0.5)
・EC/EDI	+ 0 (+1.3)
・その他	△ 2.2 (△2.2)
合計	+ 4 (+5)

2009年3月期見込み事業別売上総利益 JFE

内訳(連結:前期比)

単位:百万円

	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	4,570	4,475	△ 95	△2.1%
(売上総利益率)	16.7%	16.0%	—	—
PBS事業	1,233	1,685	452	36.7%
(売上総利益率)	19.4%	24.1%	—	—
全社計	5,803	6,160	357	6.2%
(売上総利益率)	17.2%	17.6%	—	—

<BASの増減>

上期 △ 19
下期 △ 76

<PBSの増減>

上期 +38
下期 +414

2009年3月期見込み

売上総利益増減の要因(連結:前年同期比)

→収益改善+当社固有のソリューションで計画を達成 百万円

売上総利益増減要因 (◎大幅な増益、○増益、△横ばい、×減益)	影響額 ()内:下期
1. BAS事業 ○JFEスチール 中期戦略IT投資 への対応 ○製造流通向け 重点顧客戦略の推進と原価管理ソリューションの展開 ×JFEグループ会社向けは統合案件完了により減少	△95 (△76)
2. PBS事業 ◎ 食品新ソリューション(商品開発、流通連携)の展開と大手食品メーカーへの提案拡大 ○ 電子帳票システム の継続推進	+452 (+414)
合計	+357 (+338)

販管費、特別損益の増減(連結:前期比)

■販売費・一般管理費: +193百万円(下期+188百万円)

(08/3:4,447百万円→09/3:4,640百万円*1)

*1:人材育成費用、事業開発費用(基幹系ソリューション開発)等

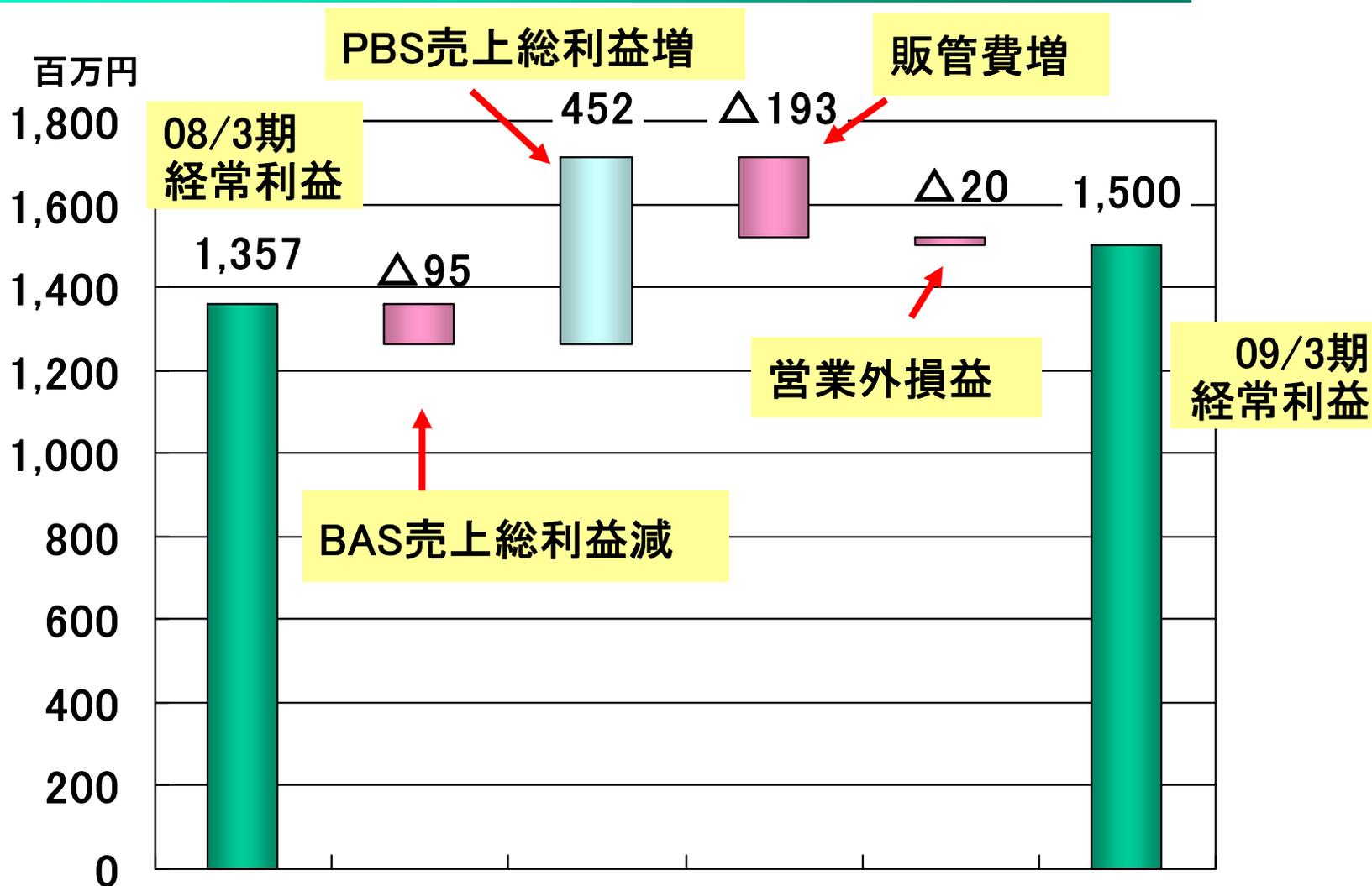
■特別損益: +131百万円(下期+70百万円)

(08/3:△131百万円*2 →09/3:0百万円)

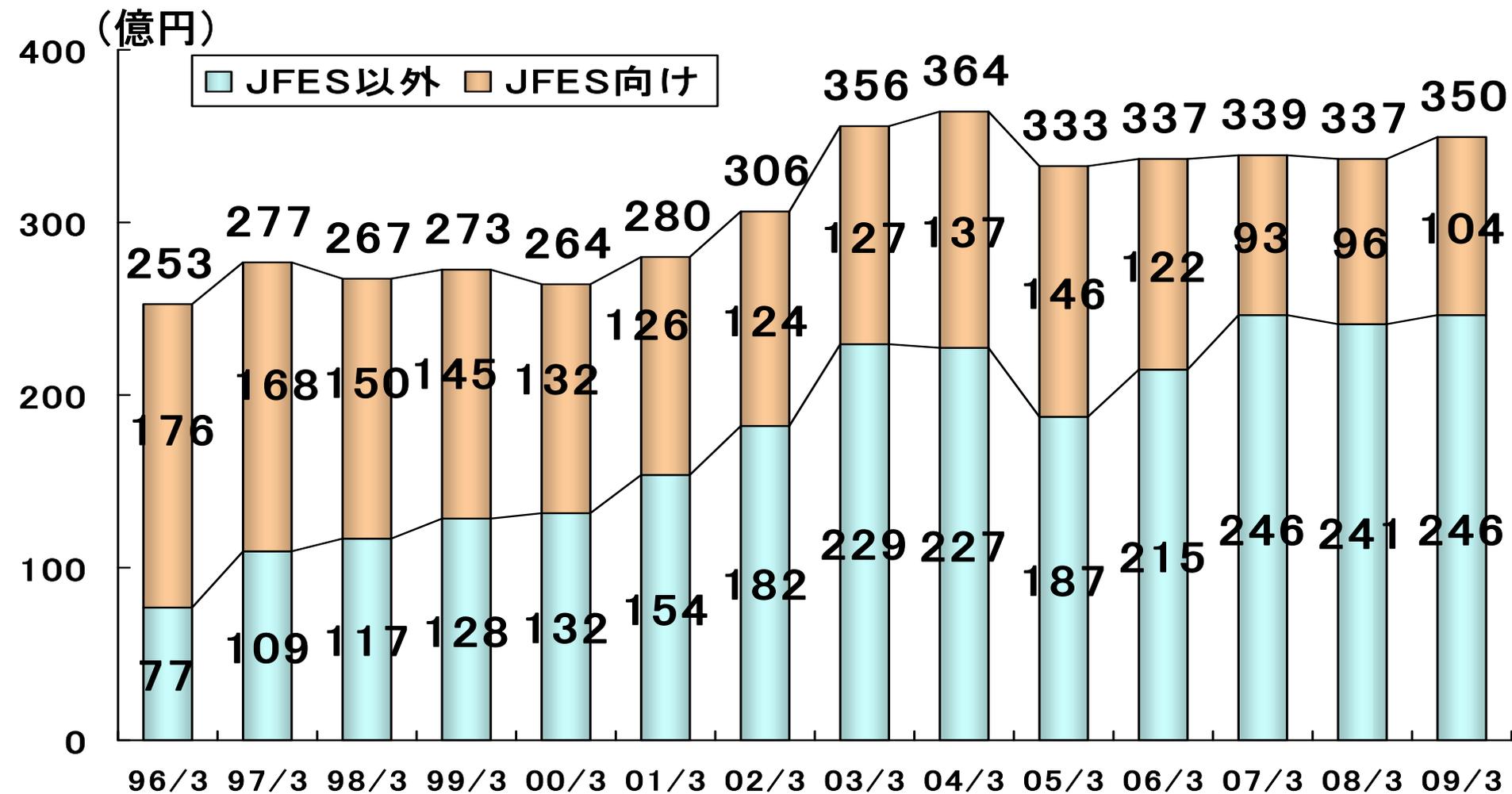
*2:過年度役員退職慰労金繰入額計上および訴訟和解金等

2009年3月期見通し(連結)

経常利益増減の要因整理



売上高の推移



(注) '03/3期以降は連結売上高を記載

(見通し)

Ⅲ. 重点課題への取組み状況

2008年度の重点課題

経営環境

経済情勢の急速な悪化

- ・緊急度の高いテーマへのIT投資への絞込み
- ・実績、強みを重視した業者選別の厳格化

JFEスチール次期中期計画への対応

- ・国内増産体制(3300万t)
- ・積極的な海外事業展開
- ・業務の効率化、スピードアップ

重点課題

①重点顧客戦略の推進

②独自プロダクト・ソリューションの強化

③JFEスチール 中期IT戦略への対応

④グローバル対応力の強化

⑤人材育成体系・内容の大幅な見直し

①重点顧客戦略の推進

→IT投資絞込みに備え、基幹業務、得意分野に注力

上期の活動・成果

- 重点顧客への定着が進み、利益率が改善
 - ・プロジェクト管理活動の成果
 - ・顧客業務への習熟

- ・IT投資の絞込み
- ・業者の選別

通信

- 総合通信キャリア:1社

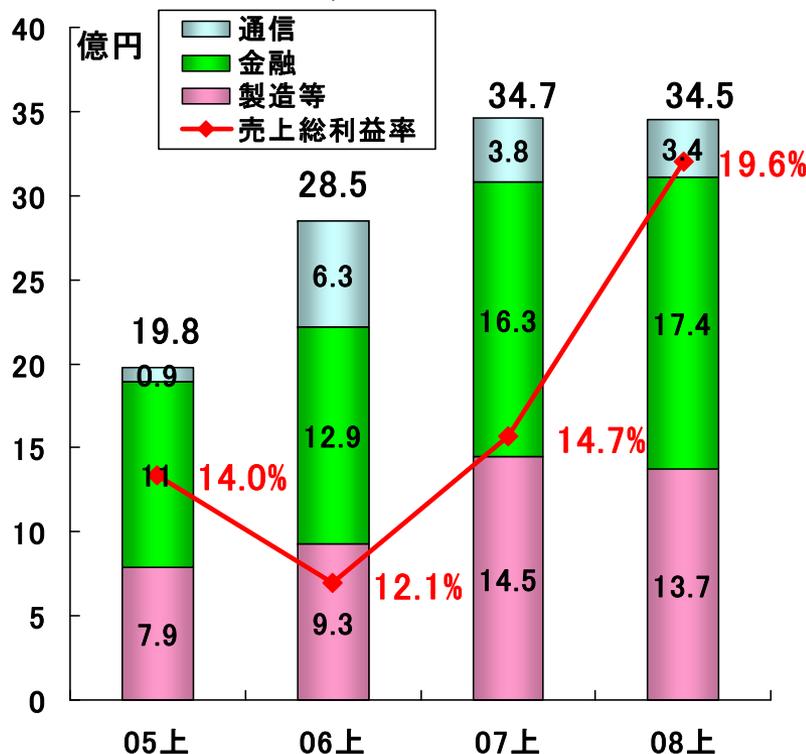
金融

- 銀行:3社
- 信託:3社
- カード:2社
- 損保:1社

製造等

- 自動車、建機:4社
- 素材/化学:4社
- 電機、流通他:7社

<安定顧客売上高推移>



重点課題

■基幹系システム受注へ注力

- ・企画要員の配置増強
- ・リピート展開(自動車等)

■当社固有の分野を拡大

- ・原価管理、SCMの提案を強化

■販技一体での提案強化

- ・事業部制移行の検討

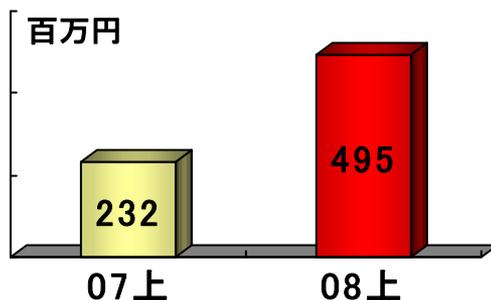
② 独自プロダクト・ソリューションの強化

→競争力のある自社開発プロダクトで勝負
(食品、電子帳票に加え、原価管理システムを新たなコアプロダクトに)

食品

- ◆大手食品メーカー多数に納入実績
- ◆「食の安全」ニーズ拡大
 - ・Mercrius(品質管理)
 - ・Quebel(製法管理)
 - ・Vestia(中小向け)
 - ・電子カルテシステム(SaaS型)

<受注高推移>

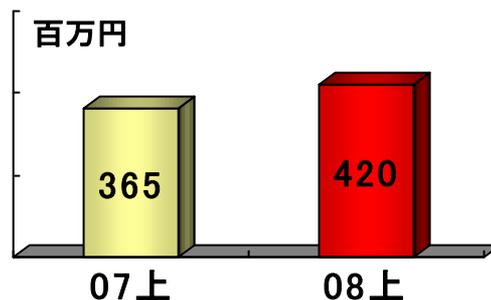


重点課題

- 新商品との組合せで大手メーカーにさらに拡販
- SaaS型サービスを起点に流通、中小にも裾野拡大

電子帳票

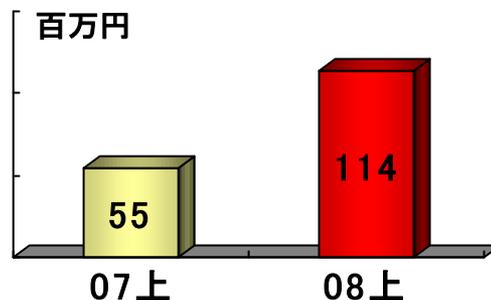
- ◆3大メガバンクをはじめ地銀証券等に納入実績。シェアNo1
- ・FiBridge II(電子帳票)
- ・FileVolante(オープン版)



- 商品開発投資拡大
- パートナー戦略強化
 - ・データ配信
 - ・イメージデータ管理

原価管理

- ◆精密なコスト分析機能が高評価
- ◆原材料高で引き合い急増中
- ・J-COREs(原価管理)



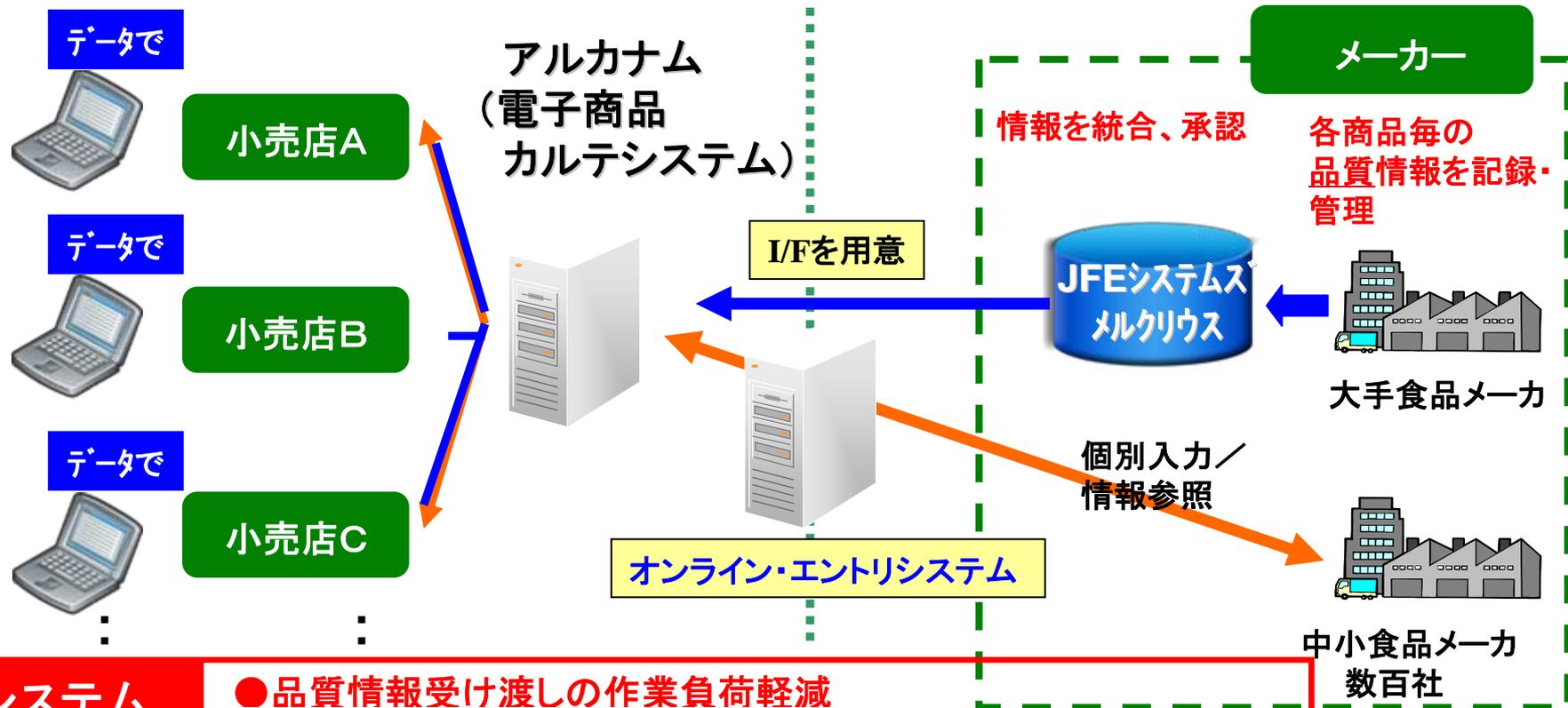
- コンサル要員を中心に人材リソースを増強
- 新たなコアプロダクトとして注力

新ソリューション事例②-1

「SaaS型電子食品カルテシステム」

デュアルカナム社*が運用

*コープさっぽろとJFEシステムズが当サービス展開のために設立。



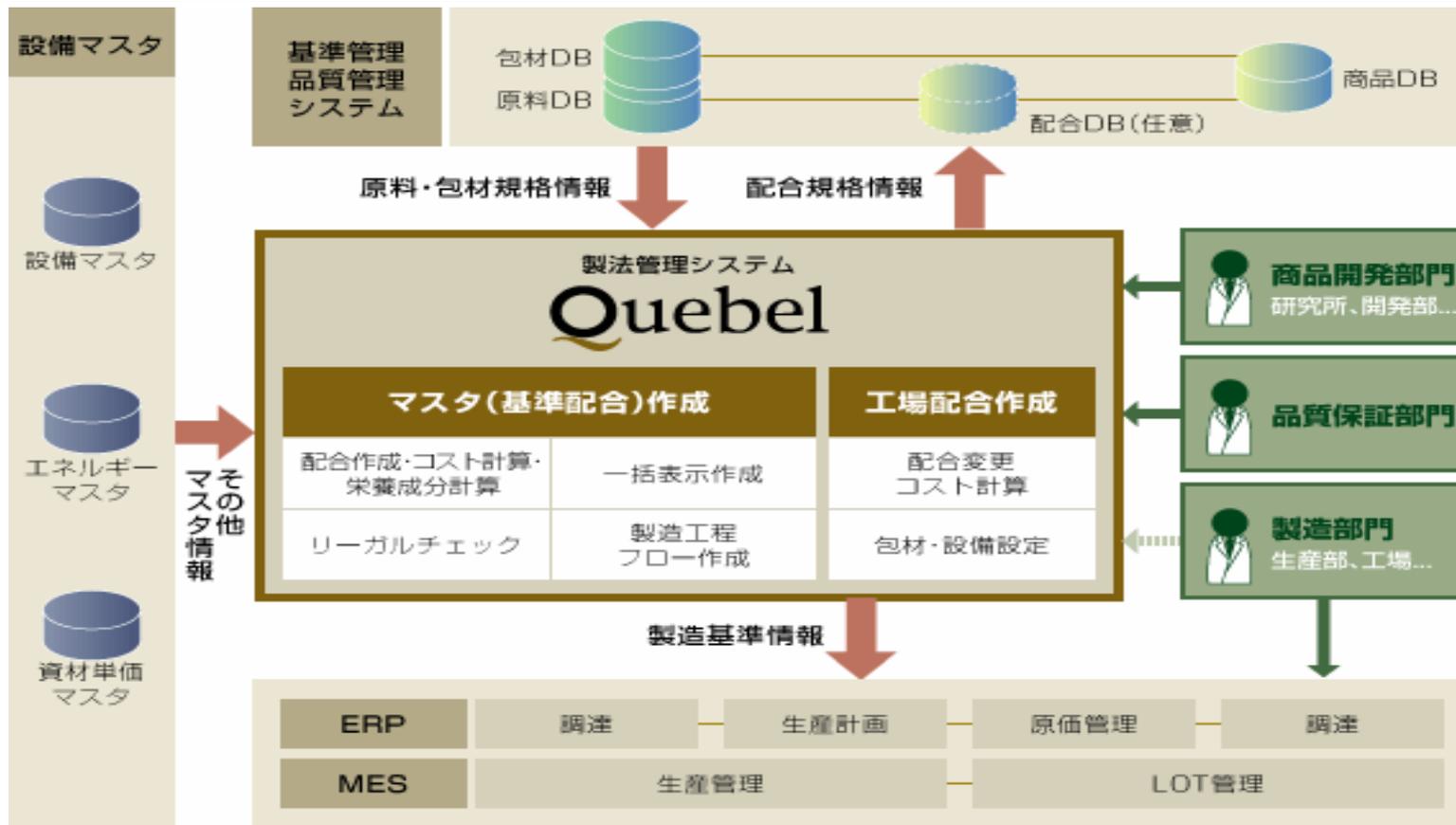
**本システム
で期待され
る効果**

- 品質情報受け渡しの作業負荷軽減
- 品質情報精度の向上
- 小売・卸・メーカー間での、タイムリーで正確な情報伝達の実現
- 消費者に役立つアウトプットの実現

新ソリューション事例②ー2

食品製法管理システム「Quebel」

- 食品製造業の**商品開発/品質保証部門**を強力に支援する2大機能を実現。
 - ・配合統合管理
 - ・**食品法規**を前提とした配合チェック(中央法規出版株式会社と提携)
- 基幹の生産管理システムと連携することで、資材管理の効率化、製造ロスの削減に寄与。



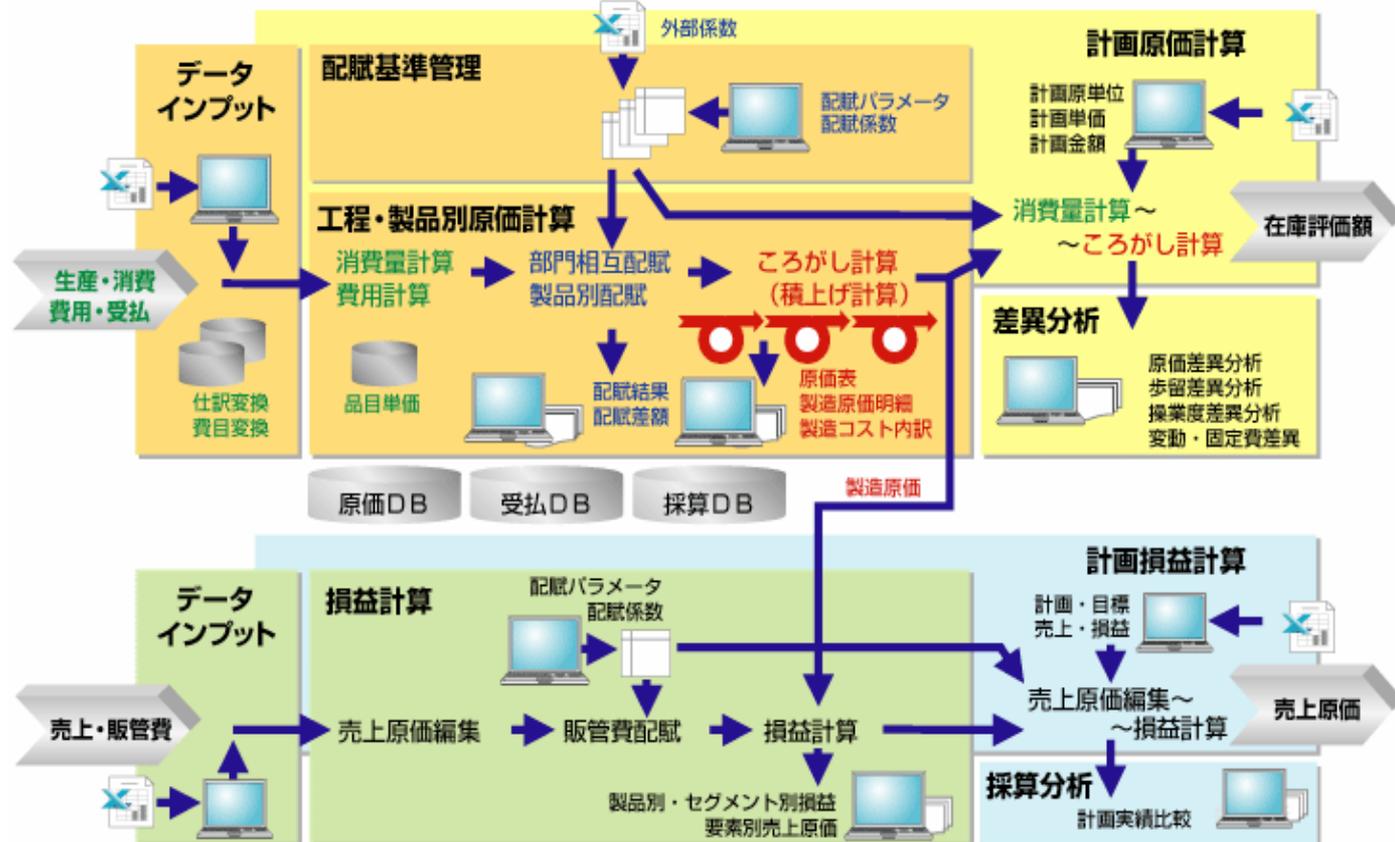
新ソリューション事例②-3

原価管理システム「J-CCOREs」

製鉄業で採用されている「工程別原価積算方式」をシステム化。
業種を問わず、事業損益管理に直結する原価シミュレーションが可能。

SIでの適用実績

- 95 製薬会社
- 98 電子機器メーカー等
- 99 電子機器メーカー海外展開
- 01 鉱業
- 02 石油メーカー、製紙、電力
- 03 石油メーカー
- 04 化学メーカー
- 05 特殊鋼メーカー LSIメーカー



商品開発

J-CCOREsの展開

- 07 容器製造、時計、等
- 08 食品、機械、石油、樹脂加工等

③ JFEスチール中期IT戦略投資への対応



→ JFEスチール次期中期戦略の実現にITで貢献

JFEスチール次期中期戦略

高付加価値サプライヤとして世界的な「高級鋼」需要拡大に対応

- 国内増産体制(3300万t体制)
- 積極的な海外事業展開

持続的成長を支える業務再構築活動の推進

- 業務の効率化、スピードアップ

当社の役割

国内増産3300万t体制への貢献

- ・ 製鉄所システムリフレッシュの推進
- ・ 品質、計画、物流、分野のIT投資対応

ITによる業務改革を支援

- ・ 「見える化」「内部統制」対応など

スチール海外戦略へITで貢献

- ・ ブラジル等での一貫製鉄事業FSへ参画

< 施策 >

企画フェーズをリードする人材の確保・育成
共通ITフレームワークによる開発生産性向上

④グローバル対応力の強化

→足元の対策、および将来に向けた検討を推進中

(将来イメージ) 一定の売上を海外から確保する事業モデル

商材の海外展開



- ・ルクリウスの北米市場展開のFSに着手

顧客の海外戦略をサポート

JFEスチールグループ
一般顧客（自動車メーカ、電機等）

- ・JFEスチールグループ貫製鉄所事業FSに参画

オフショア人材の活用

開発 ~ 保守・運用まで
コストセンター → 共存（人材育成）

- ・自動車メーカシステム運用にオフショア人材を起用
- ・オフショア活用の標準化作業を実施中

* FS (Feasibility Study)
: 実現可能性の検証作業

⑤ 人材育成内容・体系の大幅な見直し

→ 開発教育は見直し完了。現在営業教育を検討中。

＜人事制度の改訂＞

1. 職種別等級定義の設定

9職種分類と到達レベルの設定

→ 全社の戦力マップ作成

→ 強化対象の明確化

2. ローテーション計画の作成

戦力マップに基づき、将来に向けてローテーション計画を作成

→ 個々人の年度目標に反映



＜開発教育体系＞ 見直し完了 → 教育実施中

＜基本方針＞

- ・ 開発基礎体力の強化
- ・ 企画設計を担う上流SE人材増強

＜内容＞

1. 職種別教育体系の見直し
 - (1) DB設計の徹底教育
 - (2) 技術領域コースの拡大・充実
2. 成長段階に応じた教育メニューパック (含むヒューマンスキル教育)

＜営業教育体系＞ 見直し検討中

＜基本方針＞

- ・ 営業基礎力の強化
- ・ 営業部門の中核となる人材の育成

＜内容＞

1. 各営業プロセスに必要な基礎力、行動様式の明確化と教育
2. 当社の目指すビジネスモデルの実現に必要とされる役割、課題解決方法の検討と教育

補足データ(単体損益)

2009年3月期第2四半期累計期間 の業績(単体:期初計画比)

単位:百万円

	期初 計画	実績	計画比増減	
			金額	率
売上高	12,900	13,910	1,010	7.8%
営業利益	50	265	215	430.0%
経常利益	40	283	243	607.5%
(経常利益率)	0.3%	2.0%	—	—
四半期純利益	0	163	163	—

2009年3月期第2四半期累計期間 の業績(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
売上高	13,978	13,910	△ 68	△0.5%
売上総利益	2,226	2,193	△ 33	△ 1.5%
(売上総利益率)	15.9%	15.8%	—	—
営業利益	333	265	△ 68	△ 20.4%
経常利益	348	283	△ 65	△18.7%
(経常利益率)	2.5%	2.0%	—	—
特別損益	△ 61	0	61	—
四半期純利益	147	163	16	10.9%

2009年3月期第2四半期累計期間 事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	10,967	10,972	5	0.0%
(うちJFES向け)	4,325	4,487	162	3.7%
(うちJFES以外)	6,642	6,485	△ 157	△2.4%
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	3,011	2,938	△ 73	△2.4%
全社計	13,978	13,910	△ 68	△0.5%

2009年3月期第2四半期累計期間



事業別売上総利益内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	1,663	1,589	△ 74	△4.4%
(売上総利益率)	15.2%	14.5%	—	—
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	563	604	41	7.3%
(売上総利益率)	18.7%	20.6%	—	—
全社計	2,226	2,193	△ 33	△1.5%
(売上総利益率)	15.9%	15.8%	—	—

2009年3月期第2四半期累計期間

販管費、営業外損益の増減(単体:前年同期比)

■ 販売費・一般管理費 : +34百万円

(08/3/2Q : 1,893百万円 → 09/3/2Q : 1,927百万円)

■ 特別損益 : +61百万円

(08/3/2Q : Δ 61百万円*1 → 09/3/2Q : 0百万円)

*1: 過年度役員退職慰労金繰入額を計上

2009年3月期第2四半期累計期間 經營指標(単体:前年同期比)

單位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	
			金額	率
借入金	800	0	△ 800	△ 100.0%
自己資本	7,597	8,030	433	5.7%
総資本	12,401	13,435	1,034	8.3%
自己資本比率	61.3%	59.8%	—	—
ROE	1.9%	2.0%	—	—
従業員数(人)	1,308	1,304	△ 4	△ 0.3%
売上高/人	10.7	10.7	△ 0.0	△ 0.2%
経常利益/人	0.27	0.22	△ 0.05	△ 18.4%

2009年3月期見込み(単体:前期比)

単位:百万円

	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	
			金額	率
売上高	30,060	30,000	△ 60	△0.2%
売上総利益	4,977	5,340	363	7.3%
(売上総利益率)	16.6%	17.8%	—	—
営業利益	1,244	1,420	176	14.1%
経常利益	1,260	1,400	140	11.1%
(経常利益率)	4.2%	4.7%	—	—
特別損益	△ 131	0	131	—
当期純利益	636	790	154	24.2%
EPS(円/株)	8,108	10,060	1,952.0	24.2%

2009年3月期見込み

事業別売上内訳(単体:前年同期比)

単位:百万円

	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・システム事業(BAS)計	23,694	23,015	△ 679	△2.9%
(うちJFES向け)	8,844	9,602	758	8.6%
(うちJFES以外)	14,850	13,413	△ 1,437	△9.7%
プロダクトベース・ソリューション事業(PBS)計	6,366	6,985	619	9.7%
全社計	30,060	30,000	△ 60	△0.2%

2009年3月期見込み



事業別売上総利益内訳(単体:前期比)

単位:百万円

	2008/3 実績	2009/3 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	3,774	3,655	△ 119	△3.2%
(売上総利益率)	15.9%	15.9%	—	—
PBS事業	1,233	1,685	452	36.7%
(売上総利益率)	19.4%	24.1%	—	—
全社計	4,977	5,340	363	7.3%
(売上総利益率)	16.6%	17.8%	—	—

販管費、特別損益の増減(単体:前期比)

■販売費・一般管理費: +187百万円

(08/3: 3,733百万円 → 09/3: 3,920百万円*1)

*1: 人材育成費用、事業開発費用(基幹系ソリューション開発)等

■特別損益: +131百万円

(08/3: △131百万円*2 → 09/3: 0百万円)

*2: 過年度役員退職慰労金繰入額計上および訴訟和解金等

連結子会社KITシステムズの業績

<会社概要>

- ・資本金:2億円
- ・設立:1986年10月
- ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:船谷 幹夫 (会長:岩橋 誠)
- ・従業員数226名(2008年9月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

<業績>

単位:百万円

	2008/3 2Q累計	2009/3 2Q累計	増減	2008/3 実績	2009/3 見込	増減
売上高	3,550	3,770	220	7,359	7,940	581
経常利益	△10	93	103	109	185	76
四半期純利益	△9	52	61	52	111	59

- ・2008年3月期第2四半期累計期間はJFEシステムズとの連携強化および機器売上増により収益が大幅に改善。
- ・2009年3月期もさらに分業、一体化を推進し、収益改善をはかる。

JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。